

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名称	ワトコティンバーガード ミディアムブラウン
製品コード	PWH289 Hokusan Timberguard Teak
製品タイプ	液体
特定用途	屋内用木部保護油性塗料（消費者用、専門業者用、工業用）
総販売元	北三株式会社
住所	東京都江東区新木場1-7-6
電話番号	03-3521-2111

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	可燃性液体 - 区分4
GHSラベル危険有害性情報	警告
GHSラベル注意書き	可燃性液体

安全対策 一般情報	すべての指示をよく読み、必ず従うこと。子どもの手の届かない場所に保管すること。医師の診察を受ける際は、製品の容器またはラベルを持参すること。
予防措置	保護手袋、保護服、保護メガネ、保護マスク、または聴覚保護具を着用すること。熱、高温の表面、火花、火気、その他の着火源から遠ざけること。禁煙。
応急措置 保管	該当なし。
廃棄	換気の良い涼しい場所で保管すること。
その他の有害性	内容物および容器は、すべての地域、国内、国際規制に従って処分すること。 現時点では報告されていない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	混合物
化学物質を特定する他の方法	データなし

科学名または一般名

原材料名	%	CAS 番号
炭化水素（C11～C14、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2～25%）	≥25 - ≤50	64742-47-8
炭化水素（C10～C13、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2%未満）	≥10 - ≤25	64742-48-9

現在の供給者の知見および該当する濃度において、健康または環境に対して有害と分類され、この項目での報告が必要とされる追加成分は含まれていません。職業ばく露限界値が存在する場合は、第8項に記載されています。

4. 応急措置

必要な応急処置の説明

眼に入った場合	目を大量の水で直ちに洗い流し、時々上下のまぶたを持ち上げること。コンタクトレンズを着用している場合は、取り外すこと。刺激が生じた場合は、医師の診察を受けること。
吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で安静にさせること。火災時に分解生成物を吸入した場合、症状が遅れて現れることがある。暴露した人物は、48時間にわたり医学的監視下に置く必要がある場合がある。
皮膚に付着した場合	汚染された皮膚を大量の水で洗い流すこと。汚染された衣服と靴を脱ぐこと。症状が現れた場合は医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合	口の中を水でよくすすぐ。被災者の意識があるときは少量の水を飲ませること。医療関係者の指示がない限り、嘔吐を促さないこと。

予想される急性健康影響

眼に入った場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。
吸入した場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。
皮膚に付着した場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。
飲み込んだ場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰にばく露した場合の徴候症状

眼に入った場合	特にデータなし。
吸入した場合	特にデータなし。
皮膚に付着した場合	特にデータなし。
飲み込んだ場合	特にデータなし。

場合により緊急の医療処置や特別な処置が必要とされる症状

医師への特記事項	火災時に分解生成物を吸入した場合、症状が遅れて現れることがある。暴露した人は48時間にわたり医学的監視を受ける必要がある場合がある。
特定の治療法	特定の治療法なし。
応急処置をする者の保護	個人的なリスクを伴う行動や、適切な訓練を受けていない場合は、いかなる対応も行ってはならない。
※毒性情報（第11項）を参照のこと。	

5. 火災時の措置

消火手段

消火剤	乾燥化学剤、二酸化炭素、水スプレー（霧状）または泡消火剤を使用する。放水（ジェット噴射）は使用しないこと。
特有の危険有害性	可燃性液体。排水口に流出すると、火災や爆発の危険を生じるおそれがある。火災時または加熱された場合、圧力が上昇して容器が破裂し、その結果爆発が発生する危険がある。蒸気やガスは空気より重く、地表に沿って広がる。蒸気は低い場所や閉鎖空間に滞留する可能性があり、離れた着火源に到達して引火するおそれがある。
有害な熱分解生成物	分解生成物には以下の物質が含まれることがある： 二酸化炭素 一酸化炭素 窒素酸化物
特有の消火方法	火災が発生した場合は、直ちに現場を隔離し、周囲からすべての人を退避させること。個人に危険が及ぶ行動や、適切な訓練を受けていない者による対応は行わないこと。危険がなければ、容器を火災区域から移動させること。火災にさらされた容器は、水スプレーで冷却すること。
消火を行う者の保護	消防隊員は、適切な保護具および全面マスク付きの陽圧式自給式呼吸器（SCBA）を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	
対応要員について	個人に危険が及ぶ行動や、適切な訓練を受けていない者による対応は行わないこと。周囲区域を避難させること。不必要かつ保護されていない者の立ち入りを禁止すること。流出物に触れたり、踏み込んだりしてはならない。すべての着火源を遮断すること。危険区域内での着火、喫煙、火気の使用は禁止。適切な個人用保護具を着用すること。
緊急時の対応要員	こぼれた物質への対応に特殊な保護服が必要な場合は、第8項に記載されている適切または不適切な素材に関する情報を参照すること。また、「緊急時以外の対応者向け情報」もあわせて確認すること。
環境に対する注意事項	こぼれた物質の拡散や流出、および土壌、水路、排水路、下水との接触を避けること。製品が環境汚染（下水、水路、土壌、大気など）を引き起こした場合は、関係当局に報告すること。
流出物の封じ込めおよび清掃の方法と使用材料	
少量の場合	危険がない場合に限り、流出を止めること。流出区域から容器を移動させること。水溶性であれば水で希釈し、拭き取ること。不溶性であれば不活性の乾燥材で吸収し、適切な廃棄容器に入れること。認可を受けた産業廃棄物処理業者を通じて廃棄すること。
大量の場合	危険がない場合に限り、流出を止めること。流出区域から容器を移動させること。風上から接近すること。下水、河川、地下室、密閉空間への流入を防ぐこと。流出物は排水処理施設へ洗い流すか、以下の手順で処理すること。認可を受けた産業廃棄物処理業者を通じて廃棄すること。汚染された吸収材は、流出した製品と同様の危険性をはらむ可能性がある。流出物は不燃性の吸収材（砂、土、パーミキュライト、珪藻土など）で囲い込み、回収し、地域の規制に従って廃棄用容器に入れること。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項	
安全取扱注意事項	適切な個人用保護具を着用すること（第8項を参照）。飲み込まないこと。目、皮膚、衣服との接触を避けること。蒸気やミストを吸引しないようにすること。十分に換気された場所でのみ使用すること。換気が不十分な場合は、適切な呼吸保護具を着用すること。換気が十分でない限り、保管場所や密閉空間には立ち入らないこと。使用していないときは、元の容器または適合材でできた認可された容器に密閉して保管すること。熱、火花、火気、その他あらゆる着火源から離れた場所で保管・使用すること。空容器には製品の残留物が残っており、危険を伴うことがある。容器を再使用しないこと。
衛生対策	この物質を取り扱う、保管する、または加工する区域では、飲食および喫煙を禁止すること。作業者は飲食や喫煙の前に手や顔を洗うこと。飲食区域に入る前に、汚染された衣服や保護具を脱ぐこと。衛生管理に関する追加情報については、第8項も参照のこと。
安全な保管条件	地域の規制に従って保管すること。許可された隔離区域に保管すること。直射日光を避け、乾燥した涼しく換気の良い場所で、元の容器のまま保管すること。不適合物質（第10項参照）や飲食物から離して保管すること。あらゆる着火源を排除すること。酸性性物質とは分けて保管すること。使用するまで容器は密閉し、しっかりと封をしておくこと。開封した容器は慎重に再封し、漏れを防ぐために立てた状態で保管すること。ラベルのない容器に入れて保管しないこと。環境汚染を防ぐため、適切な格納措置を講じること。取り扱いや使用前に、第10項で記載されている不適合物質を確認すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理基準値	
作業環境における許容暴露限界（職業ばく露限界）	
原材料名	許容暴露限界
炭化水素（C10～C13、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2%未満）	メーカー推奨値（国連、2009年）TWA8時間：1200 mg/m ³ （184 ppm）形態：蒸気
生物学的暴露指標	知られている暴露指標なし。
設備対策	十分に換気を行った上で使用すること。作業者の空気中汚染物質への曝露を推奨限度以下・法定限度以下に抑えるために、工程の密閉化、局所排気装置、その他の工学的管理措置を講じること。
環境暴露管理	換気設備や作業工程に使用される機器からの排出物は、環境保護関連法規の要件を満たしていることを確認すること。場合によっては、排出物を許容範囲内に抑えるために、排ガス洗浄装置、フィルター、または工程機器の工学的改良が必要となる。
個人保護措置	
衛生対策	化学製品を取り扱った後、飲食、喫煙、トイレの使用前、および作業終了時には、手、前腕、顔を十分に洗浄すること。汚染のおそれがある衣服は適切な方法で脱ぎ、再使用前に洗濯すること。作業場所の近くに洗眼設備や安全シャワーを設置しておくこと。
保護メガネ/保護マスク	液体の飛沫、ミスト、ガス、または粉じんへの曝露を避けるために必要とリスクアセスメントで判断された場合は、認証基準に適合した保護メガネを使用すること。EN166に準拠した眼の保護具を使用すること。接触の可能性がある場合、アセスメントでより高い保護が必要とされない限り、側面シールド付きの保護メガネの着用が推奨される。
手の保護	リスクアセスメントにより必要と判断された場合は、認証基準に適合した耐薬品性・非透過性の手袋を、化学製品の取り扱い中は常に着用すること。手袋メーカーが指定する条件を考慮し、使用中も手袋の保護性能が維持されているかを確認すること。手袋の素材ごとの耐透過時間はメーカーにより異なる場合がある。複数の物質からなる混合物の場合、正確な保護時間を産出することはできない耐透過時間の目安：4～8時間（ニトリルゴム製(0.5mm厚)）。

人体の保護	作業内容および関係するリスクに基づいて、身体用の個人保護具を選ぶこと。本製品を取り扱う前に、専門家の承認を得ること。推奨：オーバーオールまたは長袖シャツの着用（EN 467）。
その他皮膚の保護	作業内容および関係するリスクに基づいて、適切な保護靴およびその他の必要な皮膚保護措置を講じること。本製品を取り扱う前に、専門家の承認を得ること。
呼吸用保護具	危険性および曝露の可能性に応じて、適切な規格または認証に適合した保護マスクを選定すること。保護マスクは、正しい装着、訓練、その他の重要事項を確実にするために、呼吸用保護プログラムに従って使用すること（EN 140）。

9. 物理的及び化学的性質

特に記載がない限り、すべての特性の測定条件は標準温度・圧力下とする。

外観

物理的状態	液体
色	黄色（薄い）
臭い	弱い
臭いの閾値	データなし。
pH	該当なし。
融点	データなし。
沸点	>184℃（文献値）
引火点	密閉式：>63℃（文献値）
燃焼性	以下の物質や条件下では可燃性がある：火気、火花および静電気放電。 蒸気が空気と混合して爆発性の混合気を形成するおそれがある。

燃焼または爆発範囲の上限・下限 下限：0.9% 上限：8%

蒸気圧

製品 / 成分の名称	20℃での蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法
炭化水素（C11～C14、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2～25%）	15	2	計算
炭化水素（C10～C13、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2%未満）	0.38	0.051	計算

蒸気密度	>1 [空気 = 1]
相対密度	0.88
密度	0.87～0.9 g/cm ³ [20℃]
溶解度	冷水および温水に対して不溶性
自然発火温度	>250℃（文献値）
分解温度	データなし。
粘度	動的（室温）：27～35 mPa・s（27～35 cP）（文献値） 動粘性率（室温）：30～40 mm ² /s（30～40 cSt）（計算値） 動粘性率（40℃）：>20.5 mm ² /s（>20.5）（計算値）

10. 安定性及び反応性

反応性	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
科学的安定性	通常条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常の保管および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	すべての着火源（火花または火気）を避けること。容器に加圧、切断、溶接、ろう付け、はんだ付け、穴あけ、研磨を行ったり、加熱または着火源にさらしてはならない。
混触危険物質	以下の物質と反応または不適合：酸化剤
危険有害な分解生成物	通常の保管及び使用条件下では、有害な分解生成物は発生しない。

11. 有害性情報

毒物学的な作用に関する情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	暴露時間
炭化水素（C11～C14、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2～25%）	LD50 経皮	ウサギ	>5000 mg/kg	－
	LD50 経口	ラット	>6312 mg/kg	－
	LC50 吸入 蒸気	ラット	5000 mg/m ³	4時間
炭化水素（C10～C13、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2%未満）	LD50 経皮	ウサギ	>5000 mg/kg	－
	LD50 経口	ラット	>5000 mg/kg	－

結論/要約 入手可能なデータに基づき、分類基準は該当しない。

刺激性/腐食性

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	暴露時間	観察
炭化水素（C11～C14、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2～25%）	眼 - 角膜混濁	ウサギ	1	－	－

結論/要約

皮膚	入手可能なデータに基づき、分類基準は該当しない。
目	入手可能なデータに基づき、分類基準は該当しない。
呼吸器系	入手可能なデータに基づき、分類基準は該当しない。

感作性

製品 / 成分の名称	暴露経路	種類	結果
炭化水素（C11～C14、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2～25%）	皮膚	ウサギ	非感作性

結論/要約

皮膚	皮膚アレルギー反応を引き起こすおそれあり。
呼吸器系	入手可能なデータに基づき、分類基準は該当しない。

変異原性

製品 / 成分の名称	テスト	試験	結果
炭化水素（C11～C14、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2～25％）	OECD 471	試験： In vivo 被検体： バクテリア	陰性
結論/要約 入手可能なデータに基づき、分類基準は該当しない。			

発がん性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	暴露時間
炭化水素（C11～C14、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2～25％）	陰性 - 経口 - TD	ラット	－	－
結論/要約 入手可能なデータに基づき、分類基準は該当しない。				

生殖毒性

製品 / 成分の名称	妊娠毒性	妊性	発生毒性	種類	投与量	暴露時間
炭化水素（C11～C14、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2～25％）	－	陰性	陰性	ラット	経口	－
結論/要約 入手可能なデータに基づき、分類基準は該当しない。						

吸引性呼吸器有害性

製品 / 成分の名称	結果
炭化水素（C11～C14、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2～25％）	吸引性呼吸器有害性 - 区分1
炭化水素（C10～C13、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2％未満）	吸引性呼吸器有害性 - 区分1

催奇形性

特定標的臓器毒性、単回ばく露	データなし。
特定標的臓器毒性、反復ばく露	データなし。

予想される急性健康影響

目に入った場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。
吸入した場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。
皮膚に付着した場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。
飲み込んだ場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。

物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状

目に入った場合	データなし。
吸入した場合	データなし。
皮膚に付着した場合	データなし。
飲み込んだ場合	データなし。

遅発性および即時性の影響ならびに短期および長期の暴露による慢性的な影響

短期暴露	
潜在的な即時性作用	データなし。
予想される遅発性影響	データなし。
長期暴露	
潜在的な即時性作用	データなし。
予想される遅発性影響	データなし。
健康への慢性効果の可能性	データなし。

12. 環境影響情報

毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	暴露時間
炭化水素（C11～C14、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2～25％）	急性 EC10 >1000mg/l	ミジンコ類	48時間
	急性 IC10 >1000mg/l	藻類 - <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>	72時間
	急性 LC50 2200µg/l 淡水	魚類 - <i>Lepomis macrochirus</i>	4日間
	急性 LOAEL >1000mg/l	魚類	96時間
炭化水素（C10～C13、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2％未満）	急性 EC50 >1000mg/l	ミジンコ類	4時間
	急性 IC50 >1000mg/l	藻類	4時間
	急性 LC50 >1000mg/l	魚類	4時間

結論/要約 長期にわたり水生生物に有害。

残留性・分解性

製品 / 成分の名称	テスト	結果	投与量	植種源
炭化水素（C11～C14、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2～25％）	－	69 % - 容易 - 28 日	－	－
結論/要約 入手可能なデータに基づき、分類基準には該当しない。本製品は生分解性についての試験は行われていない。				
製品 / 成分の名称	水中における半減期		光分解	生分解性
炭化水素（C11～C14、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2～25％）	－		－	容易
炭化水素（C10～C13、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2％未満）	淡水<28日、5～25℃		80%; <28日	容易

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	log P _{ow}	BCF	可能性
炭化水素（C11～C14、直鎖／分岐鎖／環状アルカン、芳香族含有量2～25％）	3.5～4.7	130～150	低い

土壌中の移動性	
土壌/水分配係数	データなし。
移動性	揮発性あり。
他の有害影響	重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄物の発生は可能な限り回避または最小限に抑えること。本製品および溶液、ならびに副生成物の廃棄は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法令および地域の自治体の規則に準拠して行うこと。余剰品や再利用不可能な製品は、許可を受けた廃棄物処理業者を通じて処分すること。未処理の廃棄物を下水に排出してはならない（関係当局の要件を完全に満たしている場合を除く）。廃棄包装材はリサイクルすること。リサイクルが不可能な場合に限り、焼却または埋立処分を検討すること。本製品およびその容器は安全な方法で廃棄し、洗浄していない空容器を取り扱う際には十分に注意すること。空容器またはライナーには残留物が残っている場合がある。残留した蒸気により、容器内に極めて可燃性または爆発性の高い空気環境が生じるおそれがある。容器内を十分に洗浄していない限り、使用済み容器の切断、溶接、研磨をしてはならない。流出物の拡散や、土壌・水路・排水溝・下水への流入を避けること。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	規制対象外	規制対象外	規制対象外
国連品名	—	—	—
国連分類クラス	—	—	—
容器等級	—	—	—
環境有害性	なし	なし	なし

使用者のための特別な予防措置 使用者の敷地内での輸送：必ず容器を密閉し、直立かつ確実に固定して輸送すること。輸送に携わる者は、事故や漏洩が発生した場合の対応方法を理解していることを確認すること。

15. 適用法令

消防法

類別等	品名／性質	危険等級	注意事項	指定数量
第四類危険物	第二石油類	III	火気厳禁	1000L

労働安全衛生法	該当しない。
化学物質審査規制法	該当しない。
毒物及び劇物取締法	該当しない。
化学物質排出把握管理促進法	該当しない。

16. その他の情報

履歴

作成日	2025年3月21日
前作成日	—
版	第一版

注意事項

本書に記載の情報は、現時点で入手可能な範囲で正確なものと認識しております。しかしながら、当該供給者および関連会社は、情報の正確性や完全性について一切の責任を負いません。本製品の適合性の最終判断は、使用者ご自身の責任で行ってください。すべての製品には未知の危険性が潜んでいる可能性があるため、十分に注意して取り扱う必要があります。ここに記載された危険性は一例であり、これ以外の危険性が存在しないことを保証するものではありません。